

知徳体が調和し、「いのち」輝く人間の育成



〈テーマ〉

山形の教育「いのち」そして「まなび」と「かかわり」

□ 「いのち」を大切に、豊かな心と健やかな体を育てる

○ 「いのち」を大切に、豊かな心を育てる

- 1 「生命」を大切にすることを推進する教育課程を編成する。
☆自校で実践してきた「いのちの教育」を「生命を尊重し、守ること」の視点から整理する。
☆「生命」の大切さを実感する体験活動の充実を図る。
- 2 自尊感情と思いやりの心を育む道徳教育を進める。
☆道徳教育の要としての道徳の時間を充実させる。
☆豊かな体験活動等を通して道徳実践の機会を広げる。
- 3 自尊感情と社会性を育む生徒指導を充実させる。
☆生徒指導の機能を生かし、一人一人の自己実現をめざす支援を充実する。
☆自発的・自治的な活動を推進し、社会性を育む。
☆教育相談・特別支援教育が一体となって機能する学校体制づくりを推進する。
- 4 感性を磨き、想像力を豊かにする読書活動を推進する。
☆一人一人が自主的に読書活動に取り組むことができる環境づくりを進める。

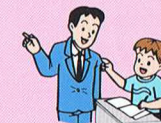
○ 「いのち」の輝きを育む健康教育を推進する

- 1 自ら進んで健康を考え、望ましい行動につなげる保健教育を進める。
- 2 学校安全計画に基づき、危険予測・危険回避能力の育成と子どもの安全確保に努める。
- 3 栄養教諭等を中心に教職員が連携し、計画的に食育を推進する。
- 4 運動の特性に触れる楽しさや喜びが実感できる活動を通して、体力づくりを進める。



□ 「まなび」を通して、自立をめざす

- 1 授業改善の視点を持ち、授業の質を高める。
☆一人一人の思考過程を大切に、課題解決能力を高める授業をつくる。
☆言語活動を工夫し、学び合いを深める。
☆学級規模を生かし、個に応じた指導の充実を図る。
- 2 これからの社会を主体的に生き抜く力を育む。
☆理数教育の充実を図る。
☆外国語教育の充実を図る。
☆ICTを活用した教育の充実を図る。
☆望ましい勤労観・職業観を育むキャリア教育の充実を図る。
☆地域と連携し、地域の伝統と文化を尊重する教育の充実を図る。



□ 幼稚園教育の充実

自主性と思いやりを育む幼稚園教育を進める。

- ☆幼児の主体性と教師の意図のバランスを図り、計画的に環境を構成する。
- ☆子どもの遊びを「透視の目」「感性の目」「プロセスの目」「内省の目」で見取りながら、適切に援助する。
- ☆「幼保小連携スタートプログラム」を活用し、幼保小の滑らかな接続を図る。

□ 「元気で、信頼される学校」をつくる

- 1 教師と子どもがじっくり向き合う学校づくりを進める。
☆教職員、地域、保護者の願いを生かし、児童生徒の実態を基に経営の重点化を図る。
☆重点課題を共通理解し、教職員一人一人が計画、評価、改善を繰り返しながら教育活動を進める。
☆教職員一人一人の悩みや課題に対応する組織体制づくりを進める。
- 2 成長の連続性を踏まえた学校づくりを進める。
☆子ども観、教育観を一つにして幼保小、小中の連携を進める。
☆生徒指導の機能、特別支援教育の視点を踏まえた学習指導と学年・学級経営を進めるとともに、指導力の継承と創造を推進する校内研修の充実を図る。
☆児童生徒の発達の段階に応じて組織的、系統的にキャリア教育を進める。
- 3 開かれた学校づくりを進める。
☆教育活動の自己評価と結果の公表を行うとともに、地域、保護者と一体となった学校評価を進め特色ある学校経営を行う。

□ 特別支援教育の推進

- 一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導及び必要な支援を学校全体で充実させる。
☆適切な教育課程編成のもと、指導計画や指導記録を活用し、授業改善を図る。
- ☆双方のねらいを明確にした交流及び共同学習を早期から組織的、計画的、継続的に行う。
- ☆お互いを認め合い思いやる温かい学校・学級づくりを進める。

□ 広い「かかわり」の中で社会力を高める ☆交流活動の充実 ☆家庭・地域との連携、協働

「子どもの自立」をめざすきめ細かな指導と「コミュニケーション」を大切にした教育活動の推進